

議事録 兼 報告書

会議名称	伊那市上下水道事業運営審議会
日 時	令和3年7月20日（火） 18:30～19:47
場 所	伊那市役所 庁議室
議 事 内 容	
<p>1 開会のことば 水道部長 新任委員の紹介</p> <p>2 あいさつ 会長</p> <p>3 会議事項（議長 会長）</p> <p>（1）令和2年度水道事業及び下水道事業の決算状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料により、事務局説明 ・質疑討論 <p>（委 員）1ページ目のグラフで数え方が変わった項目があるということですが、旧来の数え方をするとあまり変わらないということですか。</p> <p>（事務局）旧のカウントも何年か継続して行う予定ですが、大きな変更ではありません。公共ます数からメーター数に変更したこと、特にアパートなどが顕著です。例えば20世帯が入っているアパートでは公共ますが2～3個という場合があります。それをメーター数に合わせると20個ということになります。より現実的な数字になるよう変更を行いました。</p> <p>（委 員）より現実的な数字に変更をしたということで異論はないが、グラフ化する際に旧の数え方をしたところから実線でつなげてしまうのは誤解を受ける場合があるので良くないと思う。当面は以前の数え方も並行して行うということですから、併記をしていくと良いと思います。これは5ページ目の上段のグラフも同様の理由でしょうか。</p> <p>（事務局）同様の理由です。</p> <p>（委 員）下水道の方が厳しいというのは以前から変わらないと思います。上水道の方は予想というか期待どおり進んでいるということで良いですか。</p> <p>（事務局）上水道については、経費の削減というところに注目した中で、昨年度より59%増の純利益を確保しました。令和12年度以降になると設備の更新等が本格化してきますので、この辺りは収支の状況を適切に判断しながら進める必要があります。</p> <p>（委 員）21ページですが、水道事業の建設改良の構築物の決算額が、前年度よりかなり低くなっています。全国的に老朽管の問題は水道水が噴き出したというニュースをよく聞くが、伊那市の水道では今後老朽管更新の計画があるのかないのかということと、前年度より決算額が低くなった理由を教えてください。</p> <p>（事務局）構築物の予算の中には、老朽管の更新と、道路改良に関連して水道の本管を入れ替えていく事業があります。特に令和2年度は国のバイパスの工事が実施されているの</p>	

ですが、この道路改良に関連する水道の工事が出来なかったため、その分が特に大きく決算額が下がっています。特に老朽管の更新については毎年同程度の予算を確保して更新を進めています。

(委員) 以前、上の方の水道が出ないという話があって、圧を上げればよいという話をしたら、圧を上げると水道管が古いので他から吹き出してしまうと聞いたことがあります。老朽管で例年取り替えていくということは計画的にやっているということと思うが、そういうようなことに対する対応は出来ると考えてよいでしょうか。

(事務局) 水を配水する経路によっても水圧が変わってきますが、どうしても水圧が弱くなる部分もあります。計画は水道の場合だとアセットマネジメントという計画を作成し、古い管などを計画的に更新していくことにしています。

(2) 水道及び下水道事業経営健全化計画の進捗状況について

- ・資料により、事務局説明
- ・質疑討論

(委員) 水道事業の有収率がなかなか上がらないということが問題だと思いますが、数値目標にしてどのくらいの実施率でしょうか。

(事務局) 令和2年度は目標値に対して、78.7%ということで数値は上がっています。検針時に機械を当てて漏水の調査を行ったり、本管に機械を当てて調査を行ったりしながら地道に漏水箇所を特定して修繕をしています。地域ごとに配水区域を区切った場合に有収率がどうなっているかを調べるためシステム上に登録する作業が少し遅れているため、やや遅延という評価としています。

(委員) 作業が遅れていることに対してどうこういうつもりはありません。数値目標に対してどのくらいの実施率であったのか、高い場合も低い場合も、どこが良くて高かったのか、どこに問題があって低かったのかを明らかにして、それを翌年度以降の計画あるいは目標に反映をしていくことでより現実的な内容になると思います。順調か、ほぼ順調か、かなり順調か、これだけ書かれていると分かりにくいと思います。せっかく数値目標も出しているのですその辺をもう少し分かりやすくしてもらった方が良いでしょう。

(委員) 私は男と女ネットワーク協議会からの選出で、有識者になっているが私自身は有識者でも何でも無いので、資料を見てもどこでどう判断したらよいのか分かりません。本日の資料の5ページの維持管理経費の削減のところ、広域化・共同化への対応の内容を拝見して、ごみの処理と同じように、私はこの広域化というのは、水道事業、ごみ処理事業にはむしろ反対です。広域化することによって自分から離れていって見えにくい。私は広域化することで健全化することについては反対ということを申し上げたいです。長期的な健全化のことを提示されていると思うが、自分が上下水道のことで言えるとすると、消費者代表の皆さんと立場は一緒に、水と空気は私たちが生きていくうえで絶対に必要なものなので、大変なことがあっても、水道料金も下水道料金も絶対に値上げしないほしいということくらいしか言えません。私自身が

審議会でどれくらい寄与できるか分からないので、審議会の方式は個人的には見直していった方が良いのではないかと思います。

(事務局) 市の実情を分かっていたかなければなりませんし、細かい数字の説明になっていきますが、それ以外にも日々実際に感じていただいていることをおっしゃっていただくことも結構だと思います。ご意見を承りましたけれども、思っていることを言っていて、こちらの方で検討をしたいと思いますのでよろしくお願いします。

もう1点、広域化についてですが、分かりやすいところで言うと、伊那市と南箕輪村は入り組んでいます。伊那市の水道を使っている南箕輪村の人がいたり、南箕輪村の人だが伊那市の処理場で下水を処理したりしている人がいる。本当は市町村単位でやるという法制度なんですけれども、中には市町村の境を越えて広域化した方が効率が良いというようなこともあります。国も県も。今後50年たつと人口も減っていき、使う水の量も減っていくというのは明らかだということで、そうした問題を解決する手段の一つが広域化と言っています。今ごみ処理の例があって反対だというご意見もいただきましたけれども、市民の皆さんに有益な広域化と言うのは必要だと思いますので、検討をしていきたいと思います。今後審議会にも、こういうやり方を工夫していきたいというような説明をしていきたいと思います。

(委員) 13番の広域化・共同化への対応で、順調に推移しているとありますが、具体的な説明をお願いします。

(事務局) ここでいう広域化というのは、広域連携というような意味合いになります。伊那市、箕輪町、南箕輪村と下水の水質管理をしなければなりませんので、水質検査を一緒にやることによって経費を安くするとか、あるいは下水の施設で使う薬剤を一緒にまとめて購入することで経費を削減するというようなことをやっている。そういった点で順調という説明をしています。

(3) 高遠長谷水道課の統合廃止等について

- ・資料により、事務局説明
- ・質疑討論

(委員) 資料中ほどの右側に、異常警報への初期対応とありますが、異常警報というのはどのような内容でしょうか。

(事務局) 例えば停電になりましたとか、配水池の水位が少なくなってきましたとか、あるいは急に流れる水の量が多くなりましたというようなことが、電話とかパソコンの画面で状況が見ることが出来る遠方監視というシステムがあります。こういった警報が入った場合の初期対応を民間委託していきたいということです。

(委員) この内容は昨日新聞で報道されました。3月の審議会の時に、令和3年度の予算についても説明をいただいたと思いますが、例えば人件費とか、予算的な対応はされているのでしょうか。

(事務局) 今年度の予算については対応済みです。

(委員) そうすると3月の時点では状況が把握できていて、対応しているということですね。

(事務局) そのとおりです。

(委員) 委託というのは、人件費削減というのが主な目的ということで良いでしょうか。

(事務局) 委託費の増加と人件費の削減と比較した場合、概ね800万円程度安くなるという見込みです。

(委員) 3月の審議会の時の資料には出ていましたか。

(事務局) 主要事業の概要の中で、新規事業として星印をつけて説明をしています。

(委員) 皆さん全て頭に入っているわけではないので、これまでの経緯や流れ、それを説明してから話をした方が良いと思います。

(事務局) 報告事項と協議事項をはっきり分かるように説明をしてもらいたい。この委託については、委託によって不便にならないようにしてもらえれば良いと思います。

(4) その他

・なし

4 その他

(事務局) 当審議会の今後の予定については、来年3月を目途に開催する予定です。内容につきましては、新年度予算の概要、令和5年度に予定をしている水道料金、下水道使用料の改訂について資料をお示しする予定です。

5 閉会のことば

副会長

以 上